

# 臨床英語 II

M-04-28-L

オーガナイザー

循環器内科 田中 篤

## I 授業の目的

社会において、海外からの患者の受診や海外への患者紹介、国際学会への参加、英語論文作成、海外留学などの機会が飛躍的に増加している。その際、必要となるのが英語を用いた文書作成能力であり、文書等には確立された形式が存在するため、それらの基本を学び、将来医師となって国際的に活躍できる能力を習得する。

## II 到達目標

1. 英語による患者紹介状を作成することができる。
2. 英語による学会抄録を作成することができる。
3. 英語によるプレゼンテーション用スライドを作成することができる。
4. 英語による英語雑誌の編集長宛の手紙を作成することができる。
5. 英語による履歴書を作成することができる。

## III 教育内容および講義日程表

実際に、英語による、患者紹介状、学会抄録、プレゼンテーション用スライド、英語雑誌の編集長宛の手紙、履歴書の作成を行う。

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	R5.5.23	(火)	3	英語学会抄録作成	腎臓内科学	荒木
2	R5.5.30	(火)	3	英語学会プレゼンテーション作成	内科学第一	松岡
3	R5.6.6	(火)	3	英語の患者紹介状作成	内科学第四	谷本
4	R5.6.13	(火)	3	英語での論文カバーレター作成	内科学第四	塩野
5	R5.6.20	(火)	3	英語の履歴書作成	内科学第四	田中

## IV 学習及び教育方法

実践的授業形式とする。必要な知識を講義し、各授業のテーマに沿った文章等を実際に作成する。

## V 評価の方法

それぞれの授業で作成した成果物を提出し、その評価を行う。

## VI 推薦する図書

特になし

1 基盤的資質		2 医師としての本質		3 コミュニケーション能力		4 医学的知識										5 医学の実践										6 医学的(科学的)探究			7 社会貢献											
卒業時コンピテンス		チーム医療		自己啓発		倫理観 社会人としての一般教養 語学能力 情報技術 問題解決型能力										和歌山県医療 プレゼンテーション技能 副作用・薬害 予防医学 医療安全・感染予防 患者説明 介護と在宅医療 緩和・終末期・看取りの医療 救急医療 治療履歴 診療録作成 臨床推論・検査所見・画像診断 基本的臨床技能 患者尊厳 法令、研究倫理 行動科学・医療経済 生物統計、疫学 巴里の利用 疾病の診断・治療方法 基本的診察知識 検査・画像診断技術 疾病の機序と病態 人本の発達、成長、加齢、死 人体の構造と機能 細胞の構造と機能										情報交換 他者への思ひやり 人間関係の構築										基礎医学研究 臨床医学研究 社会医学研究 研究成果の公表			地域貢献 福祉活動	
臨床英語Ⅱ		レベルE		レベルE		レベルE										レベルE										レベルE			レベルF											